

● 草の根パートナー型

2014年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	スリランカ
2. 事業名	内戦復興における女性のエンパワメント-サリー・リサイクル事業-
3. 事業の背景と必要性	26年間におよぶ内戦の影響を受けたスリランカ北部では、インフラ建設などの経済開発が進められている一方で、市街地から遠い漁村は経済発展から取り残されている。特に、内戦や津波で夫や父親を失い女性が一家の稼ぎ手となった世帯は経済的に困窮しているが、就業機会がなく貧困線以下の生活を強いられている。
4. プロジェクト目標	内戦後一家の稼ぎ手となった漁村地域の女性たちにとって、サリーのリサイクル製品縫製によって生計活動の選択肢が増える。
5. 対象地域	スリランカ国北部州ジャフナ県ヴァダマラッチ・イースト郡およびムライティブ県マリタイムパトゥ郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	内戦や津波で夫や父親を失い女性が一家の稼ぎ手となった約120世帯 (600名)
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 対象地域の漁村の女性たちが各村で5~10人の縫製グループとそのネットワークを形成している。 市場に耐えうる品質の縫製品が安定的に生産される。 材料となる古着サリーが安定的に供給される。 販路がさらに開拓・確保・拡大される。 北部の事業参加女性がより多くの社会参加の機会を得る。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 経済的に脆弱な女性たちでグループを組織し、リーダー研修や会計研修を行い、各グループが生産計画を立てて運営できるようにする。 縫製研修を行った後に、デザインに基づいて各製品の仕様書と品質基準を作成し、グループごとに品質基準と生産計画にそって縫製品を生産する。 事業を紹介するチラシの作成、学校やCSR企業へのサリー事業の説明、およびコロンボ等のサリー店に協力を依頼して、古着サリーの収集を進める。 市場調査および販促用のパンフレットの配布等によって販路を確保するとともに、販売店と安定的な取引を行うための事業体組織をつくる。 参加女性によるコロンボ等の衣服店の視察の実施、コロンボ等でのサリー・リサイクル製品の展示会の開催、およびサリー提供者および消費者による事業地訪問ツアーを実施することで、参加女性たちの社会参加を促す。
8. 実施期間	2015年4月から2018年3月 (3年)
9. 事業費概算額	45,776千円
10. 事業の実施体制	パルシックスリランカ事務所に日本人現地調整員2名およびスリランカ人の現地業務補助員3名を配置し、プロジェクトマネージャーを定期的に短期派遣する。東京事務所は、JICA東京のアドバイスを得ながら、定期的に現地を視察し、評価・方針確定を行うとともに、広報を実施する。日本またはスリランカで短期間デザイナーにデザインを依頼する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人パルシックス
2. 活動内容	スリランカ、東ティモール、マレーシア、日本の被災地などで農漁村住民の生計向上事業を実施、併せてその製品のフェアトレードも行っている。